

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|-----------|-------------------------------|
| 事業名 | 訪日2000万人時代の来訪促進とおもてなし向上プロジェクト |
| 事業主体(連絡先) | 佐久広域連合(0267-62-7721) |
| 事業区分 | (6)ア 特色ある観光地づくり |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 662,318円(うち支援金:529,000円) |

事業内容

○外務省地方連携事業

駐日各国外交団地方視察ツアー

- ・7月28日、「信州の交通今昔と伝統文化体験」をコンセプトとして行われた駐日各国外交団地方視察ツアーにて、佐久地域を代表する古刹・貞祥寺で揮毫や座禅の実演と解説などの演出をしました。



外務省地方連携事業
駐日各国外交団地方視察ツアー

○G7長野県・軽井沢交通大臣会合歓迎夕食会

- ・9月23日から25日にかけて軽井沢でG7長野県・軽井沢交通相会合が開催されました。佐久地域を代表する日本文化の一つとして日本酒を国際的な舞台上で発信するため、オリジナルデザインで制作した樽と杓が23日の歓迎夕食会で利用され、鏡開きと乾杯の演出に花を添えました。



G7長野県・軽井沢交通大臣会合
歓迎夕食会

事業効果

○外務省地方連携事業

駐日各国外交団地方視察ツアー

- ・佐久地域の名所や由来のある伝統文化を通じて地域の魅力を伝えることができた。
- ・14か国18名と関係者、報道等あわせて40名程度の参加者

○G7長野県・軽井沢交通大臣会合歓迎夕食会

- ・佐久地域の蔵元13蔵が米作りから瓶詰までを共同で行った日本酒「SAKU13」をオリジナルデザインの樽で鏡開きと乾杯に使い、乾杯用に杓には佐久地域の企業がレーザー加工で微細な彫刻を施すなど、佐久地域の豊かな自然や伝統、技術などを国内外に発信することができました。
- ・各国代表団、国土交通省、地元代表者、民間代表者、報道等あわせて642名の参加者

【目標・ねらい】

- 国際的な情報発信ができる機会を捉えて、訪日外国人等に対し佐久地域の伝統や文化等の魅力を効果的に発信し、受入環境を県及び市町村、民間事業者等の役割分担を踏まえ、関係者の連携により整備することで、観光地としてのブランド力を高め、選ばれる佐久地域となることに取り組むものとします。

※自己評価【C】

【理由】

- ・外務省地方連携事業駐日各国外交団地方視察ツアー及びG7長野県・軽井沢交通大臣会合歓迎夕食会にて、事業目標における一定の成果をあげることができたが、事業全体の調整や訪日外国人に関する情勢の変化等により、進めていく中で方向修正の必要性が生じ、実施を見合わせた事業があった。

今後の取り組み

外務省地方連携事業駐日各国外交団地方視察ツアーとG7長野県・軽井沢交通大臣会合歓迎夕食会を契機として、国や県、民間事業者等と連携して事業を展開することができました。

訪日外国人の受入環境の整備は継続的に取り組むべき課題でありますので、今回の事業実施により得られた、地域の伝統や文化等の魅力を効果的に発信する方法などを生かし、佐久地域の観光推進に取り組みたいです。